



イラク復興支援群活動報告

18. 1. 22

イラク復興支援群

石原研治

17/11° (12.5°)

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

合同(10年1月22日)

◎ サマーワ主力

- 人員・武器・装具、群隊員1名(一時帰国中のところ帰隊途中、23日サマーワ着予定)の他、異状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連
 - ◆ 医療
 - 外務省等との調整
 - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
 - ・ 学校の改修：
 - 11カ所(サマーワ×6、ワルカ、ヒラール、ヒドル×2、ルメイサ)での役務作業
 - ・ 道路の改修：
 - 4カ所(サマーワ、ルメイサ、スウェイル、ワルカ)での役務作業
 - ・ PHCの改修：
 - 14カ所(サマーワ×5、ヒドル×2、マジット、ダラージ、ルメイサ×2、ワルカ×3)での役務作業
 - ・ 給水関連施設の改修：
 - 5カ所(サマーワ×1、ワルカ×2、ルメイサ×1、サマーワルメイサ間×1)での役務作業
 - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 2カ所(サマーワ×2)での役務作業
 - ・ 燃料関連施設の改修：
 - 1カ所(サマーワ)での役務作業

※英軍銃撃事案及び群隊長不在(MND(SE)指揮官会議)のため、宿営地外活動を実施せず

合同(10年1月22日)

- 宿営地関連施設の整備
 - ・ 宿営地散水
 - ・ ゴミ回収
 - ・ 糞尿くみ取り
 - ・ 環境維持作業
 - ・ コンテナ整理(不要物品集積)
 - ・ 赤外線センサー整備
 - ・ 警備控所耐弾化工事
 - ・ 耐弾施設通信工事
- 1月22日現在の雇用人員
計918名(累計:391,878名) 細部別表「雇用者」参照
- その他(特記事項)
 - ・ 業支隊長、第8次イラク復興支援群各部隊等に記念品贈呈
別紙「業支隊長、第8次イラク復興支援群各部隊等に記念品贈呈」
 - ・ 業支隊警務幕僚及び警務派遣隊とサマーワ、ルメイサ及びヒドル各警察部長等との治安担当者会同
別紙「治安担当者会同」
 - ・ 対外発信関連:1月号原稿調整(宿営地)
 - ・ 供与RO浄水機により給水車延べ5両に対し約64t(約14,222人分)が配水された。
1月22日まで計約50,695t(約11,265,555人分)配水(4.5ガロン/人・日換算)

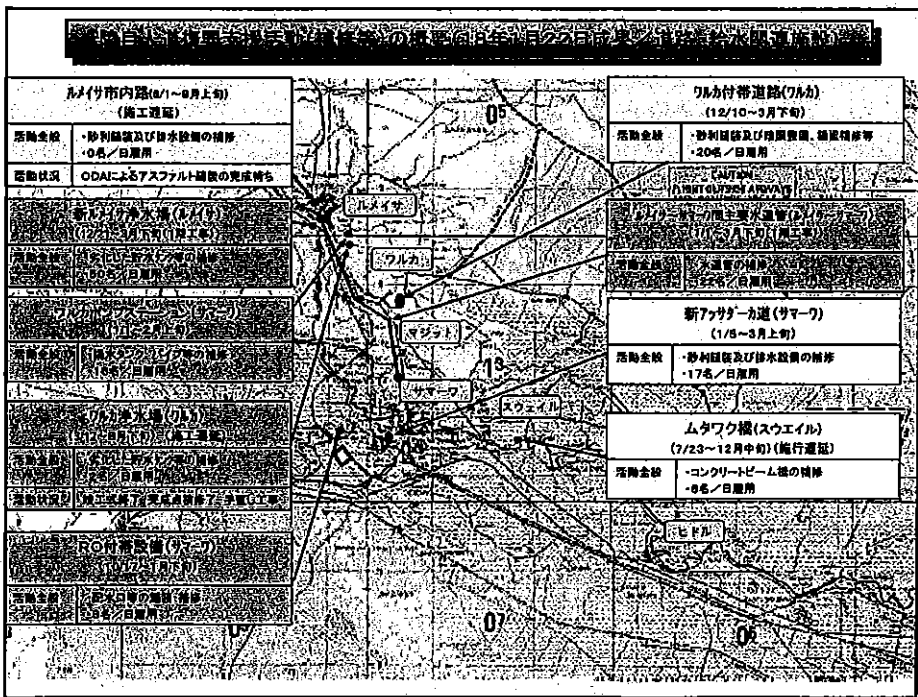
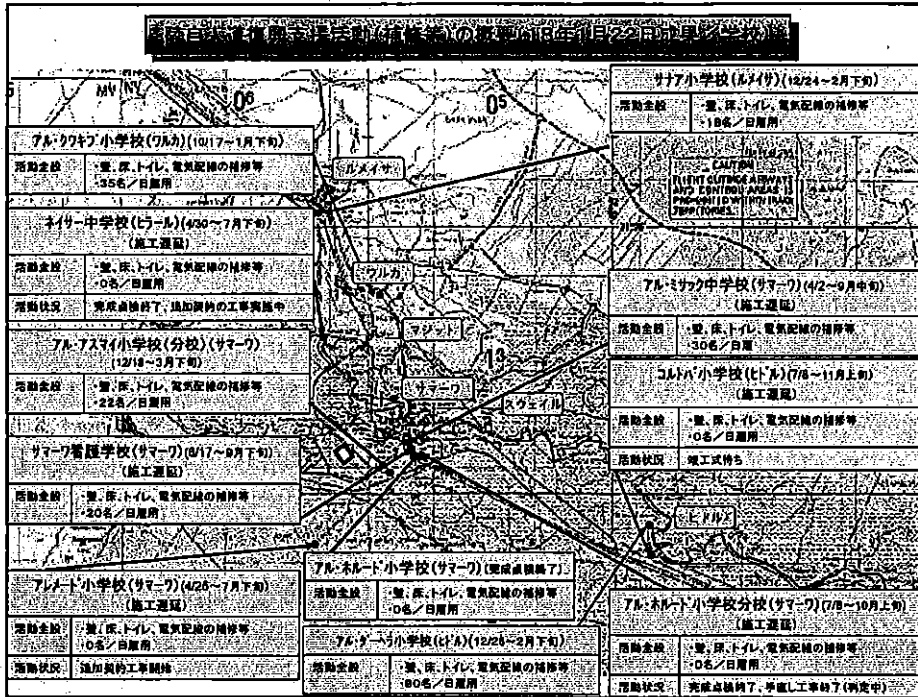
合同(16)第11目(2日)

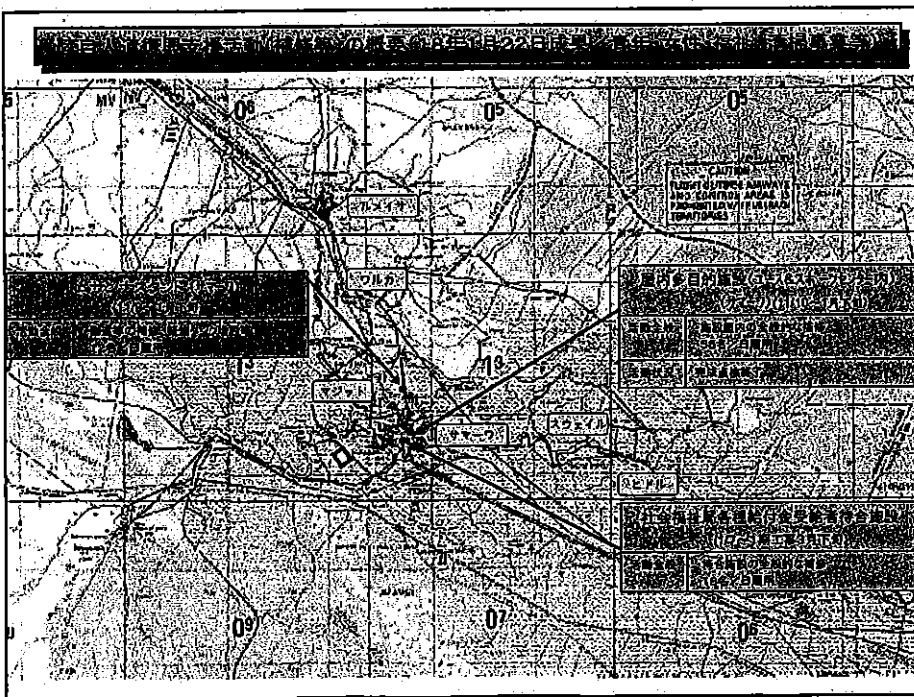
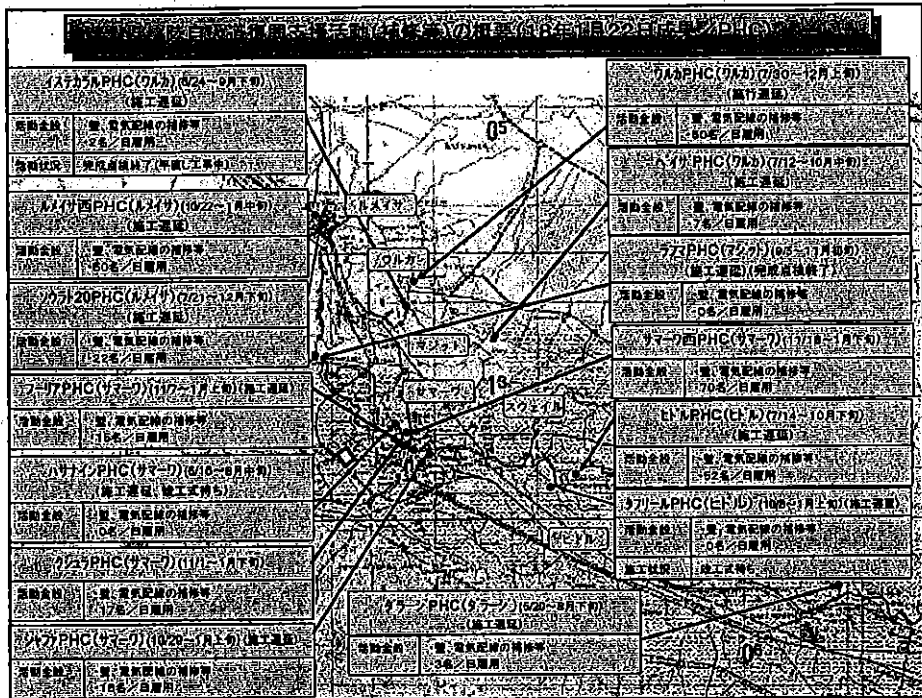
- ③ クウェート分遣班
 - ・各係申し送り
 - ・未活用品後送準備
 - ・装備品回収準備
 - ・LAV洗浄
- ④ バクダッドLO
 - ・情報収集及び情報資料の送付等
- ⑤ バスラLO
 - ・情報要求対応及び定例情報収集
 - ・定例会議への参加
 - ・空路輸送調整
- ⑥ スミッティLO
 - ・情報要求対応等
 - ・各種業務調整等
 - ・各種ミーティング等
- ⑦ クウェート大使館LO
 - ・連絡調整
 - ・情報収集

別表

合同(16)第11目(22日)

区分		人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿営地外役務	医療	306	737	918
	学校修復	205		
	道路補修	43		
	青年・スポーツ関連	73		
	給水関連	98		
	燃料	12		
宿営地内役務	通訳	63	181	
	警備	39		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	26		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
耐震性強化施設補修	20			
コンテナメンテナンス	5			





上段:増人員数
下段:減人員数

人員現況

1月16日(月)

区分	サマーワ		クウェート		バクダット		バスラ		キャンプ・アリアジャン		国外		国内		(備考) 配置の転入及び 増減人員の状況
	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	
8次支援隊	481	0	480	1	-	-	0	0	-	-	1	1	481	-	名(東支隊)21日 1100西支隊~22日1800KW 西支隊~23日KW~サマーワ 隊員以下2名余理参加 バスラ~サマーワ
8次警務 派遣隊	10	0	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	以下2名用 KW(1/23まで) 名及びLOA(1/1~21 /2)
東支隊隊 員補充隊	112	0	74	28	0	28	0	0	0	0	0	-	112	-	
東支隊隊 員補充隊	102	0	88	25	0	25	0	0	0	0	0	-	102	-	
合計	706	0	632	50	0	65	0	0	0	0	1	1	706	-	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む

本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数:44名(第8次群TV電話合計:84名、FOMA合計:2770名)

装備の現況 (車両等)

		車 両														計				
		小型	中型	救急	軽甲	高機	WAPC	業4	マイクロ	施設	水タンク車	燃料タンク	冷凍車	セミトレ	大型		特大	浄水セット	重レッカ	溶接車
IQ	サマーワ	13	10	2	43	19	6	1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	183
	シャイバ																			
	バスラ					1														1
	タリル																			
	バクダット																			
	計	13	10	2	43	20	6	1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	184
KW	キャンプVA	1			6	1	1	2	1					8						20
	キャンプアリアジャン																			
	計	1			6	1	1	2	1					8						20
	総計	14	10	2	49	21	7	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2	204

装備の現況（武器）

		武 器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマ-フ							
	シャイバ							
	バズラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンプVA							
	キャンプアリフジャン							
	計							
総 計								

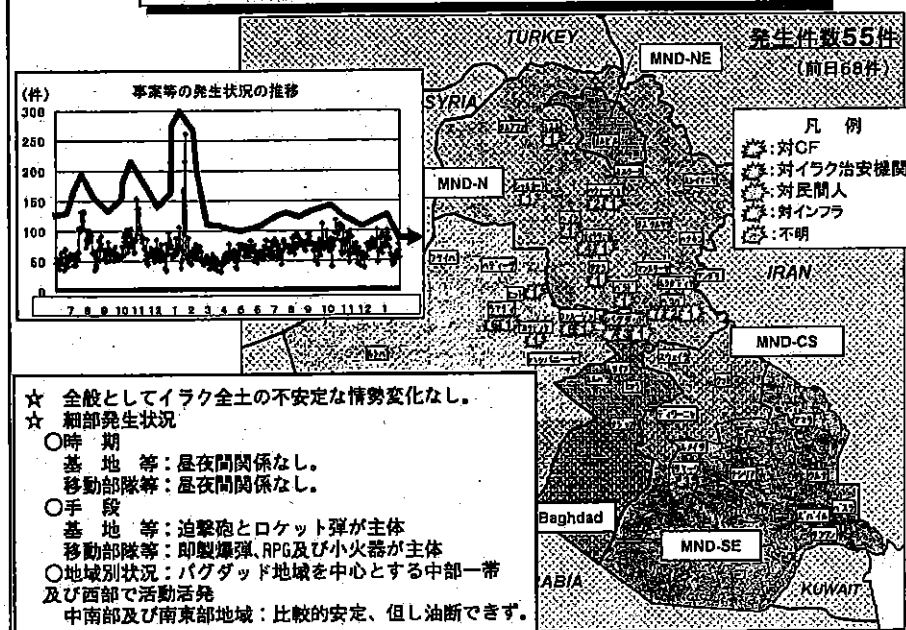
装備品等の可動・不可動の状況①

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	204	202	1	1	冷凍冷蔵車×1 エンジン不良	未使用:WAPC×1(OV) 部品待×1
陸軍用冷凍冷蔵庫	8	5	0	3		
コンテナスキャナー	2	1	0	1		
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	95	19	21	55	レギュレータ等不良×16 オイルセンサー不良×4 シリンダ破損×1	部品待×21
発動発電機(25kw)	67	39	14	14	ガバナ等不良×12 回転ケーブル不良×1 ノズル不良×1	部品待×14
発動発電機(60kw)	59	48	3	8	噴射ポンプ不良×2 ピストン不良×1	部品待×3
発動発電機(180kw)	17	16	1	0	ガスケット損傷×1	部品待×1
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	定期整備×1	後送中×1(オランダ)

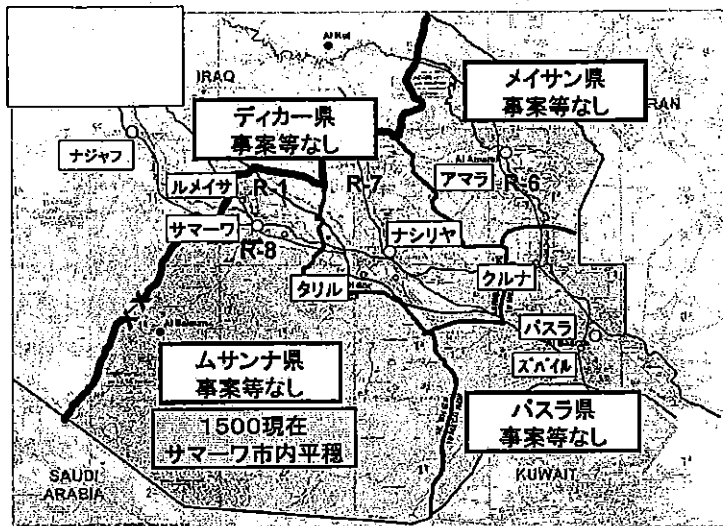
装備品等の可動・不可動の状況②

項目	総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考	
浄水セット	官品	4	3	1	0	制御盤不良×1	部品待×1
	民生	2	2	0	0		
遠距離監視装置	昼用						
	夜用						
近距離監視装置							
近距離暗視装置(V7)							
微光暗視装置(V3)							
空中監視装置							

全国の事案等の発生状況(昨日)



事案等の発生状況(21日0700~22日0700)



金曜礼拝(1.20)-1

【アル・グレイブモスク】(サマーワ、サドル派)

○説法者:ギジ師(約1000名)

*サルガニ師は出席していたが、説法は実施せず。

○説法内容:

- 多国籍軍にコントロールされているので、我々には自由がない。
- 政府は今も昔も同じで、汚職をしているのでやめさせなくてはならない。

【マムラハモスク】(サマーワ郊外、サドル派)

○説法者:ホセイン師(約90名)

○説法内容:

- アルカディールディについて
イマーム・アリは、国民を良くサポートしてくれた。素晴らしい人生だった。
- 今の政府は汚職をしている。だから新しい政府を我々が作らなくてはならない。
- 我々は民主主義と良い生活を望んでいる。

【アル・マフデイモスク】(サマーワ、サドル派)

○説法者:アルザーメリー師(約150名)

○説法内容:

- アルカディールディについて

金曜礼拝(1. 20) - 2

【アル・メディーナモスク】(ルメイサ、サドル派)

○説法者: アドナン師(約1000名)

○説法内容

- アシュラに関するカンパを行っているが、市民は何故カンパをしてくれないのか。
- イラクでサドル派民兵組織(JAM)がNo. 1のイスラム組織なのに、何故市民は我々の礼拝に参加してくれないのか。
- イラク国内をコントロールする多国籍軍をイラクから追い出さなくてはならない。
- 汚職や麻薬、飲酒等を行っている市民を見つけたら手榴弾を自宅に投げ入れる。ただし、音響手榴弾にすること。
- 新事務所はもうじき完成する。

【アル・サマーワモスク】(サマーワ、ハイリ派)

○説法者: アワディ師(約300名)

○説法内容

- アルカディールデイについて

【ムルタダモスク】(ヒドル、サドル派)

○説法者: アラサディ師(約200名)

○説法内容

- アルカディールデイについて。
- アシュラに伴いセレモニーを行うのでみんな参加するように。

金曜礼拝(1. 20) - 3

【アル・ジャシールモスク】(スンニ派)

○説法者: サミール師(約50名)

○説法内容

- イスラム教について

【脚 註】

- 今次礼拝は宗教行事アルカディールデイの直後であることから、同行事関連の説法が多くなされ、政府の汚職糾弾や反多国籍軍関連の発言もみられたが、日本隊、多国籍軍への攻撃に関する直接的な発言や攻撃を示唆する発言はなかった。サドル師は政治路線を明確にしており、サドル派主流は同師の多国籍軍に対する攻撃を抑えるようにとの指示に従っているものと考えられる。
- ただし、15日以降、英軍・イラク警察に対する小火器射撃やRPG攻撃が発生しており、一部統制に従わないグループが活発化している可能性もあり、注意を要する。
- 政府の汚職糾弾、新しい政府を作ろうとする発言、民主主義を望む発言は、選挙結果の発表を危惧し、新政府におけるサドル派の存在をアピールしようとしたものと考えられる。サドル派は、現時点では政治路線を追求していると考えられるが、新政府において所望の閣僚ポストを獲得できなかった場合、抑制していた強硬派の政治路線に対する不満が増大し、強硬路線に転換する可能性がある。また、県政レベルでは地方選に向けJAM(サドル派民兵組織)とBADR組織(イラクイスラム革命最高評議会の軍事部門)の緊張が高まり、両者が衝突する可能性もある。

最近のサマーワ治安情勢—1

【英軍パトロールに対する小火器射撃】(15日)

○1158、サマーワ市内において英軍・イラク警察の徒歩パトロールに対し、アルグレイブモスク北東400mにおいて何者かから小火器射撃15～20発を受けた。英軍パトロール側は被害なく、応射せず。犯人は青いオベルに乗ってサマーワ総合病院方向へ逃走。

○関連情報

●市内バザール周辺において英軍徒歩巡察に対し銃撃が行われたとの情報がある。本情報はPJOC(県統合作戦センター)には通報されず、詳細な位置・経緯等は不明。イラク警察に対しては事前通報等も一切なされず、英軍が単独でパトロールを実施しており、一緒にイラク警察が同行していたという事実はない。犯人は不明であり、いつものようにJAM(サドル派民兵)の可能性もあるが、1920年以降の確執により、英軍の単独徒歩巡察は銃撃を受けるだけの十分な理由がある。イラク警察は英軍の危険を考慮し、市内における英軍の単独徒歩巡察は控えイラク警察との協同パトロールを再三にわたり提唱しているが、英軍はいまだに単独巡察を辞めようとはしない。

●12月の手榴弾事案を受けて県評議会内に設置された調査委員会が、同種事案防止のため、英軍巡察の立ち入り禁止区域を英軍・サドル派の了解の上設定。英軍がそれを守らなかったために事件が発生。

●攻撃を受けた時、英軍は単独パトロールを実施中だった。以前は英軍は事案が発生するとすぐにイラク警察やイラク陸軍に通報してきたが、今回は通報が遅い上に詳細を送ってこない。場所はどこかと尋ねてもサマーワ市内としか言わないといった次第。

最近のサマーワ治安情勢—2

【RPG脅威情報】(17日)

JAM(サドル派民兵)がサマーワ市内アル・ラメル地区においてRPG攻撃を行なう可能性があるとの情報(本情報により、英豪軍は17日はサマーワ市内には立ち入らない処置をとった。)

【PJOC(県統合作戦センター)に対する小火器射撃・RPG攻撃】(19日)

○2120頃、PJOCの英軍哨所に対して250mほど南西の方向から小火器射撃。哨所が攻撃と同時に車のライトで照らされ、被害を受けた。応射、負傷者なし。

2207に2回目の小火器射撃。負傷者なし。英豪軍関与なし。その後の報告によると、攻撃にRPGが使われたことが判明。RPGは哨所に向けられたが爆発はしていない。

○2125頃、PJOCの裏のドアにロケットが命中しているのを発見。RPGまたはカチューシャ。

【英軍車両に対する小火器射撃】(19日)

○19日1610、R8号線を南下中の英軍パトロール車列に対し対抗車線を走ってきた車両から小火器射撃。車両は2両で1両に乗っている者はカメラで録画していた模様。応射なし。被害なし。

○1620頃、サマーワスタンド近傍で英軍徒歩巡察に対し車両から小火器射撃。被害なし。

【PJOCに対する小火器射撃】(21日)

○21日1320、2名の者がPJOCの英軍哨所に対し約30発の小火器射撃し、逃走。応射、負傷者なし。

○上記については、黒いオベルの3人組がPJOCビルに向けて小火器射撃との情報もあり。

最近のサマーワ治安情勢—3

【英軍と武装勢力の銃撃戦】(21日)

○1622、ポリス通りで英軍に対し小火器射撃、爆発。1630、小火器射撃継続。イラク警察との共同パトロールを実施、小火器射撃を受け応射(死亡2、負傷5)。

○関連情報①

●1630頃、サドル派事務所付近に英軍車両が停車し、周囲をパトロールし始めたことに反感を持ったJAM(サドル派民兵)が射撃し始めたことに端を発して、戦闘が拡大、イラク警察及びイラク陸軍が治安回復のために介入。

●死亡したのはタクシードライバー。英軍に誤射され死亡した模様。

○関連情報②

1320、PJOCに対し小火器射撃。1620、ハイダリア地区のイラク警察検問所に対し小火器射撃。1627、同検問所200m付近でIED爆発。数分後、英豪軍とイラク警察が共同パトロールを行なったところ、小火器及びRPGを持った武装勢力と交戦、死亡3、負傷5。1711、PJOCに対する小火器射撃2315、PJOCに対する小火器射撃。

【英豪軍の状況】

○脅威認識の変化状況(昨日(21日)→本日(22日))

○コメント

21日の事案は、サドル派民兵多国籍軍の反応を確認するために攻撃したものの、彼らはPJOC(県統合作戦センター)を敵の象徴とみなし、これを攻撃することで多国籍軍排除しようとしており、PJOC攻撃継続の可能性あり。

最近のサマーワ治安情勢—4

○市内への立入状況

ハザードマップの変更なし

【英豪軍と評議会との協定】

○英豪軍と評議会の間には英豪軍とイラク警察が共同してサマーワ市内のパトロールを実施するとの協定がある。

○英豪軍司令官とイラク警察が取り決めたものであり、共同パトロールによってプレゼンスを誇示

○英豪軍は基本的に単独パトロールは実施しない。また、パトロールを必ず実施しなければならないという規定はない。(注:情報によると単独パトロールも実施しているとのこと)

【評価】

○15日以後、英軍・イラク警察に対する小火器射撃やRPG攻撃が連続して発生しており、サドル派民兵の一部統制に従わないグループが活発化している可能性がある。

○英豪軍と県評議会の間には市内パトロール等に関する協定がある模様であり、細部内容は不明であるが、英軍による単独パトロールの実施など同協定に関連した英軍の行動が摩擦の原因となっている可能性があり、攻撃は英軍を狙ったものであるとも考えられる。

○JAMがPJOC(県統合作戦センター)を敵の象徴とみなしているとの情報があることから、PJOCに対する攻撃が継続する可能性がある。

○銃撃戦の結果、民間人に死者が発生したことから、サドル派がこれを宣伝材料とし多国籍軍非難を強め民衆の反多国籍軍感情を扇動する可能性がある。

○サドル派民兵と英豪軍とのトラブルが継続した場合、事態が拡大する可能性は否定できない。

○選挙結果に対するテモ発生の可能性、サドル派が閣僚ポストをめぐり強硬路線に転換する可能性、地方選に向けJAMとBADR組織が衝突する可能性もある。

イラク全土の全般情勢評価 (1. 2. 2)

(1月14日の報告以降、変化なし)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に中北・西部において多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続 ●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性 ●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性 	8/26追加 8/8追加
スンニ派 過激派	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安機関・移行政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサル・スンナとザルカウィGpが共闘の可能性 ●ザルカウィ関連Gpの活動が活発化 ●シーア・スンニ宗派間対立を企図したテロ発生の可能性 	9/16追加 9/1追加
FRE	●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける	
国際テロリスト	●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施 ●新政府において所望の閣僚ポストを獲得できなかった場合、サドル派が強硬路線に転換する可能性 	1/14修正
特異事項	●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引)	9/1追加

イラク南東部の全般情勢評価 (1. 2. 2)

(1月14日の報告以降、変化なし)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定→アマラ、バスラで多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃発生 ●メイサン県に存在すると考えられていた即製爆弾攻撃ネットワークがバスラ県に活動を拡大した可能性 ●バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性 	8/17追加 9/27追加 9/20追加
スンニ過激派 国際テロリスト FRE	<ul style="list-style-type: none"> ●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●バスラ・メイサン県で即製爆弾増加傾向 	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 ●新政府において所望の閣僚ポストを獲得できなかった場合、サドル派が強硬路線に転換する可能性 ●地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性 	8/28追加 1/14修正 1/14追加
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> ●即製爆弾・車両爆弾、友軍相撃、ロードバイク、子供飛出し ●カージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生 ●移動中のコンボイに対する車両爆弾の可能性 	7/23追加 7/22追加
タリルAB	●空港への曲射撃及び離発着航空機に対する攻撃に警戒	9/30追加
トレンド	●南東部における電波指令式即製爆弾が増加	

ムサンナ県の全般情勢評価 (1. 2. 2)

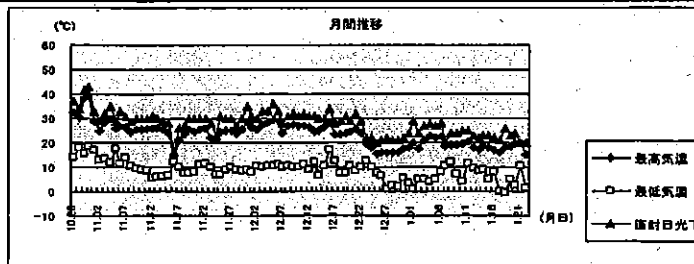
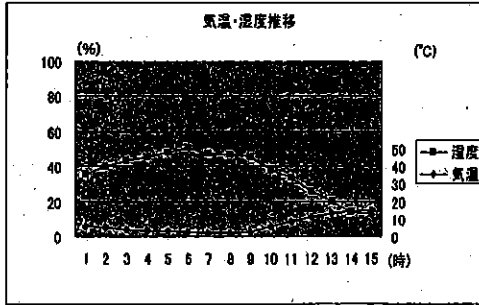
(1月14日の報告以降、変化なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定、しかしながら油断は出来ず ●知事、前評議会議長の動向等、政治情勢は依然流動的 ●イラク治安部隊の治安維持能力が向上しつつある。 	9/30修正 10/8追加
スンニ過激派 国際テロリスト	●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための存在あり	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●新政府において所望の閣僚ポストを獲得できなかった場合、サドル派が強硬路線に転換する可能性 ●地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性 (サドル派民兵が支持獲得のため反多国精軍姿勢を強める可能性) ●サドル派民兵はねっかえりが宿営地に対する曲射攻撃などの反多国精軍行動をとる可能性 	1/14追加 1/14追加 1/14修正
部族関連	●宿営地警備等の雇用の増大を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報	7/7追加
デモ関連	●ムサンナ県の政治情勢は依然流動的であること、雇用問題、燃料値上げ等により民衆の不満が高まる可能性があることから、デモ発生の可能性は依然存続。	12/20修正

現地の気象情報

報告内容

日の出 : 0656
 日の入 : 1725
 月 齢 : 22. 2
 月出没 : (没22日1105~出23日0041)
 天 候 : 晴れ
 気 温 : 最高15. 0℃最低1. 7℃
 : 最高20℃(直射日光下)
 湿 度 : 36. 4%
 風 速 : WNW3~5m/s



平成25年11月(日)の活動

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1	市長の行動	0600	総務長TV電話会議	
		0615		
		0610	J31、J32行動指導及び行動証明印決	
		0620		
		0630	高支隊指揮編成式	
		0650		
		別添	高支隊(4次要員)出発報告受け及び見送り	
		0730	昼朝礼	
		0740		
		0745	作戦会議	
		0800		
		0810	J任務編成等について(印指)	
		0820		
		0900	J8行動指導及び行動証明印決	
		0910		
		0910	宿営地内勤務	
		1300		
1300	次週活動見直し(高)について(印指)			
1340				
1435	活動命令(高)印決			
1445				
1635	デイリーミーティング			
1605				
0500	総務長TV電話会議			
0515				
0630	高支隊指揮編成式			
0650				
別添	高支隊(4次要員)見送り			
0720				
0730	昼朝礼			
0730	昼朝礼			
0740				
0745	作戦会議			
0800				
0900	宿営地内勤務			
1300				
1300	次週活動見直し(高)について(印指)			
1340				
1340	宿営地内勤務			
1635	デイリーミーティング			
1605				
1605	高支隊ミーティング			
1625				

平成25年11月(日)の活動

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J2*	第4次高支隊長の行動	0500	総務長TV電話会議	
		0515		
		0630	高支隊指揮編成式	
		0650	高支隊(4次要員)出発報告受け及び見送り受け	
		別添	J31としての行動	
J31	人員輸送(高支隊(4次要員)輸送)	別添	宿営地 奥 タリルAB 着 タリルAB 奥	LAV(G)×4 LAV(QJ)×2 LAV(GISJ)×1 HMV(G)×2
		別添	宿営地 奥 宿営地 奥	
J32	人員輸送(高支隊(4次要員)輸送)	別添	タリルAB 着 タリルAB 奥	LAV(G)×4 HMV(G)×1 HMV(E)×1 特次(GIS)×1
		別添	宿営地 奥 宿営地 奥	
J8	衛生支援(サマーフ総合病院技術指導等)	別添	サマーフ総合病院 奥(サマーフ) サマーフ総合病院 奥(サマーフ)	LAV(G)×3 HMV(G)×1
		別添	宿営地 奥 アリアルサレムAB 奥	
Jx	移動収容	別添	タリルAB 着 タリルAB 奥	空車C130
		別添	宿営地 奥	J31同乗

10月20日(日)の手配

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
Jy	装備品整備(高機動車及び通信器材整備)	未定 未定	宿営地 発 バスラAB 着	実車へリ
J201	ORF			
J202	ORF(予備)			
S6☆	役割者調具配置	0630~ 1130~ 1930~	宿営地~運河警戒位置~宿営地	
S11☆	警衛		警衛	
S12☆	排水活動(運河)	0730~0800	大量排水システム点検・運転	LAV(HS)×1

10月20日(日)の手配

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S13a	宿営地内工事、作業	0800~1530	宿営地放水	
S13b		0800~1530	ゴミ回収	
S13c		0800~1530	探検済み取り	
S13d		0800~1530	冷庫・冷蔵コンテナメンテナンス	
S13e		0800~1530	環境維持作業	
S13f		0745~1600	コンテナ整理(不要物品集積)	
S13g☆	群主力の行動	0800~1000	運河監視設備発電機点検	LAV(HS)×1
S13h		0745~1530	警衛所耐震化工事	
S13i		0745~1530	ヘスコ・土のう撤去	クレーン(E)×1 油圧(E)×1 7K(E)×1 BK(E)×1 ドーザー(E)×1
S13j		0800~1530	貯糞施設清掃工事	中型(HS)×1
S15		0630 0650	機支隊東西引継式(機支隊のみ)	
	別示	機支隊(4次要員)見送り		
	0730	群朝礼		
	0740	宿営地内活動		
	1530	宿営地内活動		
S16	宿中監視活動	23日 0730 24日 0730	宿中監視活動	

10月23日(金)の活動

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・業務引継 ・乗支隊4次CV 受入支援 ・バクダッドLO輸送支援 ・会計文書検査受検 ・装備品回収 ・空輸業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・定例情報収集 ・定例会議への出席 ・空路輸送調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・各種業務調整 ・各種ミーティング等 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集

乗支隊長 第8次イラク復興支援群各部隊等に記念品贈呈

別紙



第8次イラク復興支援群第3科長に記念品を贈呈する乗支隊長



第8次イラク復興支援群警備中隊長に記念品を贈呈する乗支隊長

治安担当者会合



懇話する4次乗支隊警務専使






挨拶を行う6次乗支隊警務専使

[Redacted]

治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
 警備態勢: [Redacted]
 群長指導事項(群長は、21日MND(SE)指揮官会議参加(バスラ)のため不在
 - (群長、出張のためなし)

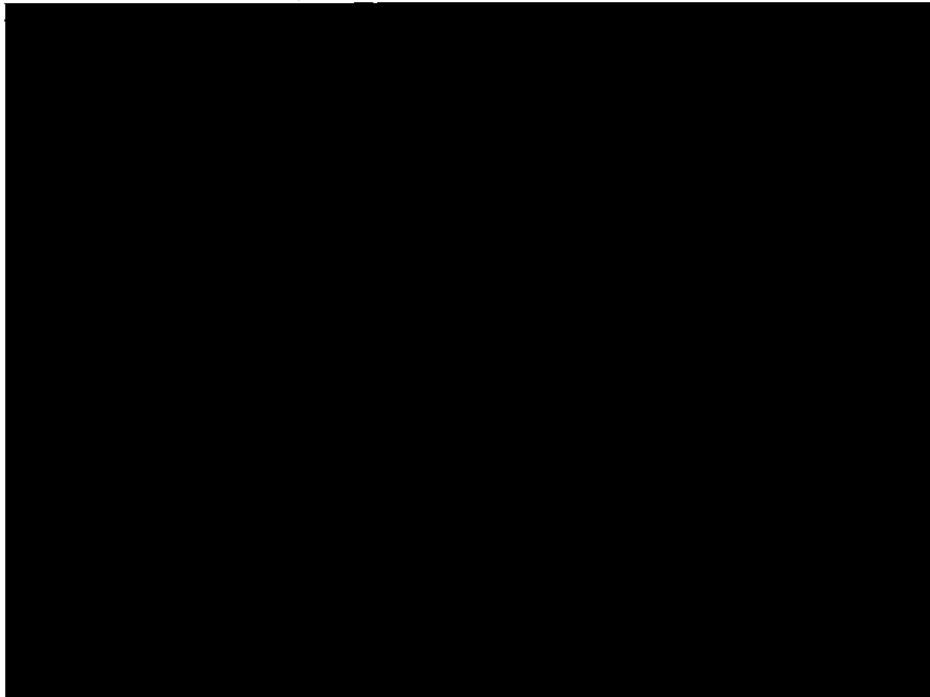
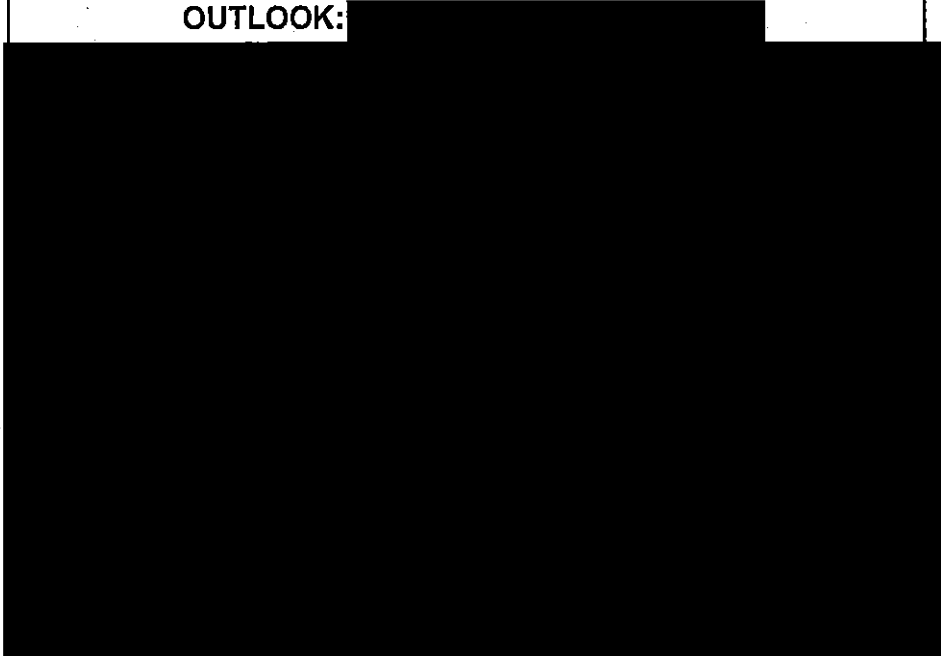
[Redacted]

治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
 警備態勢: [Redacted]
 群長指導事項
 - (MND(SE)指揮官会議参加(バスラ)に関して非常に良い会議だった。昨日は、LO主催で師団司令部スタッフを呼んでパーティーを実施したが、師団長をはじめ多くの人達が参加してくれ、「日本のLOが司令部の中で最も礼儀正しくまじめである。」等様々なほめ言葉を頂いた。バスラLOも頑張っていることを実感した。
 - (最近のサマーワ周辺における事案に関して)未だ情報が錯綜している状況にあるようだ。引き続き情報収集を継続することが重要である。

 	バグダッドLO日々業務報告(1月22日1900)	
区分	内 容	
1 警備態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 [Redacted] (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [Redacted]、バグダッド及びモスルは [Redacted]、ラマディは [Redacted]	
2 特記事項	[Redacted]	
3 本日の業務	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) 5次要員に対する申し送り	
4 明日の予定	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) 5次要員のBIAFへの送り(5次要員は1200バグダッド離陸予定の英軍機でクウェートへ移動)	
5 その他(備考)	4次要員から5次要員への業務の引き継ぎ完了	



OUTLOOK:



バグダッド 日誌 (1月22日)

(4次要員最終回)

- もう一度、行きますか？
- ・ いよいよ我々4次要員最後の日となった。9月21日から始まったこの日誌も今日で最後となった。個人的な各国LO連(日本人含む)に囲まれて、充実した毎日を通しながら、主に彼らとのやりとりを中心に「バグダッドの日常風景」をこの状況を知らない人が読んで分かるように書くように努めた。
 - ・ 色々な方から「日誌、楽しみにしてるよ！」と言って頂けることが励みになった。ただ、どんなにおもしろい話でも、どうしても「字」にすることを憚られることも多々あった。これは帰国後の「酒の肴」にしたいと思う。
 - ・ 陸幕国際協力室勤務間、私が担当したイラク、UNDOF、中国等の海外任務から帰国した隊員を出迎えた時、必ず「もう一度行くことを希望しますか？」と質問していた。同じ質問を今度は我々自身に聞くこととなった。私以外の4名には、帰国後改めて聞きたいと思う。
 - ・ 私自身の答えはもちろん「YES」である。その時々に応じて、色々なことがあり決して楽しいことばかりではなかったが、日本では絶対に経験できないような貴重な時間を過ごすことができたことに間違いない。やり残したと思うことも確かにあるし、もっと別なやり方があったのでは？と反省することも多々ある。そういう意味では、「もう少しここにいたい」とも思う。いずれにしても、機会があれば「希望しても再び海外任務につきたい」と思う。
 - ・ 英語がもっと話せればと毎日のように思いながら、陸上自衛隊のLOとして日々他国の軍人達と接し、「日本(人)」と「自衛隊の活動」を正しく伝えるように努力してきたつもりである。また、色々な国の考え方や価値観をもっと聞いてみたかったが、私の能力の不足から、十分にできなかったことを残念に思う。
 - ・ 彼らが「正しく」日本と自衛隊を理解したかどうかははなはだ不安があるが、自衛官としてはもちろん、私の人生にとってこの上ない素晴らしい経験をすることができた。ここで出会った多くの軍人達と、いつか、どこかで再び会える日を楽しみにしつつ、ここでの経験を、今後の隊務に活かしていきたいと思う。
- ありがとうございます。
- ・ 4ヶ月間私達の書く「駄文」にお付き合い頂いたことに、本当に感謝しています。私達が書く文章を大勢の多忙な方々に読んで頂けるというのも、生涯二度とないことだと思います。ここで一緒に勤務できた他国の軍人たちと、この機会を与えて下さった皆さんに一同、深く感謝しております。
 - ・ 陸幕長をはじめ陸幕、サマーワ、クウェート等の多くの首長からご支援・ご協力を賜り、心より感謝しております。おかげさまで、無事当地での勤務を終え、一同笑顔で帰国することができそうです。ありがとうございました。
(バグダッドLO第4次要員一同)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空域 (警戒態勢) :
2 特記事項	(1) (2)
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例会議への出席 : 司令部初全隊・夕会議、J2・J3・J9総機統一会議 (4) 空路輸送調整 (5) 業務申し送り (6) 群長対応
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整 (4) 4次要員出発
5 その他(備考)	



バスラ日誌 (1月22日)

1 昨日、師団司令部要員等の4次要員に対する支援への感謝と5次要員の紹介のために、日本隊LO主催のパーティを実施した。参加してもらえるかどうか分からなかった師団長が、開始直後から来られ、異例のことであるが、約2時間、料理と我々との会話を楽しまれた。悪天候のためヘリがキャンセルとなり、サマーフに帰ることができなくなった隊長にも参加して頂いた。副師団長、幕僚長、イタリアの旅団長も来られた。師団長が、「何か話したいだろう」と言いながら、参加者であふれ騒然としている会場を静かにさせて、私のスピーチのための状況を作られた。みんなが注目する中、御礼の言葉を述べるとともに5次要員への同様の支援の提供をお願いした。スピーチの後、拍手喝采に包まれたので、十分気持ちは伝わり、5次要員への申し送りがほぼ完了したことを実感した。私の後に、師団長も我々に対する感謝の言葉を述べられた。準備した料理は、すべてなくなり、大好評であり、パーティは大成功であった。

これが、4次要員による最後のバスラ日誌になる。これまでご支援を頂いたすべての方々に感謝したい。


2 LOとしてCIMIC活動を主業務としていたが、いつも言われたのが「日本の活動は素晴らしい」というものであった。復興支援活動全般を通じて、日本隊がイラクの将来に大きく貢献しているのを実感したものであるが、自分としても少なからず「有志連合」の一員として日本の存在感を師団司令部内で示せたと思う。そうでなければ、我々の職任に当たり添ってくれる外国人がいるはずがない。そして5次要員の方々にこの良好な状況をバトンリレーできたのではと思う。今日は、日本にいる自分の息子に、父の姿を自慢したくなった。


3 この半年間、現地の人と接して何かをするという経験は、まずできないだろうと思っていました。しかし昨日のパーティ準備で食堂のスタッフと一緒に調理準備をすることで、思いがけずそのチャンスがめぐってきました。食事の準備という本来の業務とは全く関係ない作業ではありましたが、非常に楽しく充実した時間を過ごせました。わずかに数時間ではありましたが「共に汗を流す」実感を味わったことで、バスラでの経験は私にとってより実りあるものになりました。

4 私のイラク派遣は、当然の事かと思いますが「原隊出発に始まり原隊復帰に終る」と考えています。無事日本に帰る為「感情に湧くのは実家の面壁に帰ってからで十分」とも思っていました。本日別れの挨拶の途中言葉を詰まらせ涙してくれた人がいた事に半年間の成果の一部を見ることができた気がします。

バスラLOという貴重な経験をさせていただいたこと、支えてくださった皆さんに対する感謝の言葉は帰国まで取っておきます。

長らくのご愛顧ありがとうございました。明日からは、5次要員 [] の登場です。

 スミッティLO日々業務報告(1月22日)	
区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし ██████████ Threat Level ██████████
2 特記事項	15日以降の一連の事案に関し、英豪軍の情勢判断等に関して情報を収集中
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 15日以降の事案に関する情報収集(英豪軍の情勢判断等)、サマーワ市内の治安情勢、デモ情報 (2) 各種業務調整等 J任務中止関連、明日以降の豪軍支援要請 ██████████ 整理関連、スポーツ交流関連(28日) (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の英・豪軍等の射撃 Range1 英軍(小火器) 0730~1800

 クウェート分遣班業務報告	
18. 1. 22	
全般	
<input type="checkbox"/> 国内情勢等 : ██████████ <input type="checkbox"/> 人員・武器等異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告:所属人員24名、事故人員0名、現在員24名、中継乗×3名	<input type="checkbox"/> 天候:晴れ <input type="checkbox"/> 気温:温度計故障の為計測不能
本日の行動	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 各係申し送り <input type="checkbox"/> 未活用品後送準備 <input type="checkbox"/> 装備品回収準備	<input type="checkbox"/> 乗支隊4次要員送別会 <input type="checkbox"/> LAV洗浄
明日の予定	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 指揮転移 <input type="checkbox"/> 乗支隊4次CV 受入支援 <input type="checkbox"/> バグダッドLO輸送支援	<input type="checkbox"/> 会計交替検査受検 <input type="checkbox"/> 装備品回収 <input type="checkbox"/> 空輸業務
その他(教訓・要望事項等)	
<input type="checkbox"/> CV宿泊者:(乗支隊4次要員(クウェート分遣班)×22名、 ██████████ 、一時帰国者(8次尉 ██████████)	

クウェートLO日々業務報告(1月22日1900)

区分	内 容	
警戒感勢等	警戒レベル [] 予口声明に対する特段の対応なし。 ([]) (1) 国家公安部、石油関連施設、大使館等重要防護施設防護部署及び国境警備隊等部署：警戒強化中 (2) 日本国外務省渡航安全情報（危険情報）：クウェート全土「十分注意」（N/C）	
特記事項	クウェート首長逝去 服喪40日間	
本日の業務	大 使 館	CFLCC
	(1) 連絡調整等 別送 (2) 情報収集 別送	(1) 連絡調整等 別送 (2) 情報収集 別送
明日の予定	(1) 連絡調整等 (2) 情報収集	(1) 連絡調整等 (2) 情報収集
その他	なし	